

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	4	資源ごみ処理施設管理費

所管課	清掃センタ -
事業名	資源ごみ処理施設管理費
補助単独の別	

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	54,417	24,678		24,668			24,668	29,749
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	14,009	5,103	5,103			5,103	8,906
	一般財源	40,408	19,575	19,565			19,565	20,843

事業概要	リサイクルセンターの運転・維持管理を行うとともに、搬入及び収集された不燃ごみ、資源ごみビン・缶等から、資源化物を選別し資源化率向上を図る。	今年度見直し事項
事業目的	不燃ごみとして排出されるごみには、約30%の資源化物が含まれており、鉄、アルミ、プラスチック系と多種多彩なものが排出されることから、これを一括して機械により破碎し選別処理を行い資源化を行う。	
現状と背景	当市以外では広域で処理されている。不燃残渣量が多いことから、広域負担金の増加の要因になっている。	その他

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	4	資源ごみ処理施設管理費

所管課	清掃センタ -
事業名	資源ごみ処理施設整備事業
補助単独の別	

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	34,596	13,610		13,106			13,106	21,490
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	34,596	13,610		13,106			13,106

事業概要	リサイクルセンターは、平成7年7月から稼動し、14年が経過し、設備等に経年磨耗が生じていることや設置している機器も老朽化していることから、これを修理及び更新し施設の延命化を講じる。	今年度見直し事項
事業目的	リサイクルセンターは稼動して、14年が経過することから機器が突発的な故障等で処理が停滞することを防止し、効率的な管理運営を行う。	
現状と背景	リサイクルセンターをこのまま直営での運転を続けるのか。将来的な方針について検討する必要がある。	その他

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	4	資源ごみ処理施設管理費

所管課	清掃センタ -
事業名	不燃物分別等事業
補助単独の別	

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	666	657		657			657	9
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	666	657		657			657

事業概要	不燃系ごみを破碎する前に、前処理として不適切物や爆発の可能性のあるカセットボンベ等の除去を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	排出される不燃系ごみは、多種多様なものが排出されており、破碎機の故障の原因となるものについては、前処理として人的な選別が必ず必要である。		
現状と背景	過去に火災事故も発生している。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	4	資源ごみ処理施設管理費

所管課	清掃センタ -
事業名	可燃性粗大ごみ固形燃料化事業
補助単独の別	

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	5,355		0			0	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	5,355		0			0

事業概要	リサイクルセンターに搬入される可燃性粗大ごみのタンス等の木製品をRPF燃料(固形燃料)として再利用を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	可燃性粗大ごみの搬入量(650kg/1日平均)が多くあり、これまでは、清掃センターで焼却処理を行っていたが、構内作業の効率化及び処理に係る経費の削減を図る観点から、これをRPF燃料として再利用する。		
現状と背景	広域負担金に係る焼却灰・不燃残渣の量を減量する対策が必要である。	その他	